

取り組みを紹介します！

市では、昨年3月22日に近隣自治体の三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町とともに、八戸圏域連携中枢都市圏(愛称：八戸都市圏スクラム8)を形成して約1年が経過しました。

スクラム8では、「地域の個性が輝き 自立した八戸圏域」を将来像として、圏域全体の発展に向け、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」および「生活関連機能サービスの向上」に関する取り組みを進めています。その中からいくつかの事業を数回(不定期)にわたり紹介していきます。

ドクターカー運行事業

「ドクターカー運行事業」では、消防本部の要請を受けた医師がドクターカーで救急現場へ出動し、救急車と合流することで患者への迅速な対応を可能とします。

現在、八戸市立市民病院には、八戸工業大学と共同

開発した緊急的な処置等を行うことが可能なドクターカーV3を含め、3台のドクターカーが配備されています。

同病院には、県の事業としてドクターヘリも配備されており、ドクターヘリとの一体的運用により救急医療体制の一層の充実が図られています。

病院から10〜15km付近のエリアで傷病者が多数発生した場合は、ドクターカーとドクターヘリが同時出動し、1秒でも早く処置を開始し、素早く病院に搬送します。また、ドクターヘリが出動できない夜間、悪天候においても対応が可能です。

これまでのドクターカーの出動件数は9千件以上であり、ドクターカーによる劇的救命(※)は160件以上と、多くの命が救われています。

※劇的救命：八戸市立市民病院では、予測救命率50%以下の傷病者を救うことを劇的救命と呼んでいます。

高度医療従事者育成事業

「高度医療従事者育成事業」では、救命救急センター等で活動する医師・看護師の医療技術向上を目指して、JPTEC(病院前外傷救護)講習会やPTLS(外傷救急初期診療)講習会、MCLS(多数傷病者災害対応訓練)講習会などへの参加を支援し、圏域の高度医療提供体制の維持・向上を図っています。



JPTEC(病院前外傷救護)講習会の様子



図政策推進課 ☎43-9248